



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社
 コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	58,796	7.5	4,989	45.6	5,243	71.5	2,551	27.6
2019年3月期第1四半期	54,700	△13.3	3,427	△61.7	3,057	△65.4	1,998	△44.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,443百万円(149.7%) 2019年3月期第1四半期 1,779百万円(△78.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	118.47	—
2019年3月期第1四半期	92.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	902,218	106,355	10.1
2019年3月期	895,683	105,999	9.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 90,699百万円 2019年3月期 88,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	210,000	2.9	10,000	12.0	10,000	12.3	6,500	1.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	21,533,400株	2019年3月期	21,533,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	507株	2019年3月期	466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	21,532,906株	2019年3月期1Q	21,532,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
(1) セグメント別の状況	10
(2) 営業資産残高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や安定した金利水準を背景に緩やかな拡大基調が継続しているものの、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さがみられる状況となっております。また、米中貿易摩擦をはじめとした通商問題やアメリカの金融政策の行方等、国内景気に大きな影響を及ぼす可能性のある不確定要素も多く、今後の動向を注視する必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の2019年6月累計のリース取扱高は、前年同期比6.5%増の1兆2,233億円と、前年同期を上回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、主要顧客である官公庁等との良好な取引関係を活かして取引規模の確保に努めると共に、従来から実施している提案型営業の強化や大型のベンダーファイナンス案件の獲得により、当第1四半期連結累計期間における契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

ファイナンス事業においては、ファクタリングの扱いが減少したものの、従来のNECグループ商流に留まらない幅広い顧客に対するファイナンス案件の取り組みや、メガバンクをはじめとした各金融機関とのパートナーシップ強化等を行った結果、契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

リサ事業においては、ファンドビジネスにおける投資有価証券の売却や配当収益があったことから、売上高、営業利益共に前年同期を大幅に上回りました。

また、その他の事業においては、前年同期に大型の解約売上が計上されたことから、売上高は前年同期を下回るものの、販売費及び一般管理費の減少等により営業損失は改善しました。

経営成績としては、リサ事業をはじめとした伸長により売上高は前年同期を上回っております。営業利益、経常利益についても売上高の増加等により前年同期比増となり、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した後の親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を上回りました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高587億96百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益49億89百万円(同45.6%増)、経常利益52億43百万円(同71.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益25億51百万円(同27.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比横ばいの420億28百万円となったものの、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比1億38百万円減少し10億74百万円となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、前年同期比5.0%増の16億28百万円となったものの、営業利益は貸倒引当金戻入額の減少等により、前年同期比4億97百万円減少し8億27百万円となりました。

③リサ事業

リサ事業の売上高は、当期に大型のファンドによる営業投資有価証券の売却があったことから前年同期比56.7%増の113億19百万円となり、営業利益は前年同期比19億87百万円増加し36億18百万円となりました。

④その他の事業

その他の事業の売上高は、前年同期比6.4%減の38億36百万円となり、営業損失は販売費及び一般管理費の減少等により、前年同期比1億66百万円改善し92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて65億35百万円増加し、9,022億18百万円となりました。主な要因としては、リース債権及びリース投資資産が127億17百万円、営業投資有価証券が52億28百万円減少したものの、営業貸付金が113億48百万円、割賦債権が47億30百万円、現金及び預金が42億90百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて61億78百万円増加し、7,958億62百万円となりました。主な要因としては、買掛金が114億8百万円減少したものの、コマーシャル・ペーパーが140億円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億56百万円増加し、1,063億55百万円となりました。主な要因としては、非支配株主持分が13億76百万円減少したものの、利益剰余金が、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により19億5百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年4月25日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,041	25,331
割賦債権	20,234	24,964
リース債権及びリース投資資産	431,727	419,009
貸貸料等未収入金	20,201	20,656
営業貸付金	243,682	255,030
買取債権	12,873	10,665
営業投資有価証券	18,392	13,164
販売用不動産	3,740	2,446
その他	13,686	16,099
貸倒引当金	△4,950	△4,644
流動資産合計	780,629	782,724
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	54,703	56,260
社用資産	4,842	4,957
有形固定資産合計	59,546	61,217
無形固定資産		
賃貸資産	1,426	1,485
のれん	2,364	2,092
その他	2,120	2,123
無形固定資産合計	5,910	5,702
投資その他の資産		
投資有価証券	39,247	42,734
その他	12,569	12,173
貸倒引当金	△2,220	△2,334
投資その他の資産合計	49,596	52,573
固定資産合計	115,054	119,493
資産合計	895,683	902,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,439	1,324
買掛金	18,912	7,504
短期借入金	40,492	37,793
1年内返済予定の長期借入金	143,667	136,537
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
コマーシャル・ペーパー	168,000	182,000
債権流動化に伴う支払債務	4,079	3,916
未払法人税等	812	427
賞与引当金	832	782
その他	17,652	23,398
流動負債合計	415,890	413,685
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	286,421	295,409
債権流動化に伴う長期支払債務	8,679	7,793
退職給付に係る負債	2,139	2,154
その他	6,553	6,820
固定負債合計	373,793	382,177
負債合計	789,684	795,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,645	4,645
利益剰余金	80,156	82,061
自己株式	△0	△0
株主資本合計	88,577	90,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537	505
繰延ヘッジ損益	△298	△375
為替換算調整勘定	154	90
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	388	217
非支配株主持分	17,032	15,656
純資産合計	105,999	106,355
負債純資産合計	895,683	902,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	54,700	58,796
売上原価	47,668	49,506
売上総利益	7,031	9,290
販売費及び一般管理費	3,604	4,300
営業利益	3,427	4,989
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	32	40
持分法による投資利益	—	1
為替差益	—	197
投資事業組合等投資利益	40	23
その他	8	1
営業外収益合計	84	268
営業外費用		
支払利息	4	4
持分法による投資損失	14	—
投資事業組合等投資損失	2	4
為替差損	420	—
その他	11	5
営業外費用合計	454	14
経常利益	3,057	5,243
税金等調整前四半期純利益	3,057	5,243
法人税、住民税及び事業税	557	483
法人税等調整額	339	144
法人税等合計	897	628
四半期純利益	2,159	4,614
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	2,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,998	2,551

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,159	4,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	4
繰延ヘッジ損益	△40	△74
為替換算調整勘定	△64	△63
退職給付に係る調整額	△43	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△150	△38
その他の包括利益合計	△380	△171
四半期包括利益	1,779	4,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,620	2,379
非支配株主に係る四半期包括利益	158	2,063

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	41,837	1,550	7,225	4,100	54,713	△12	54,700
セグメント利益 又は損失(△)	1,212	1,325	1,631	△258	3,910	△483	3,427

(注) 売上高の調整額△12百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△483百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	42,028	1,628	11,319	3,836	58,812	△16	58,796
セグメント利益 又は損失(△)	1,074	827	3,618	△92	5,428	△439	4,989

(注) 売上高の調整額△16百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△439百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(国内普通社債の発行)

当社は2019年3月28日開催の取締役会にて決議された2019年度の国内無担保普通社債発行の限度額及びその概要に基づき、2019年7月12日に無担保社債を発行いたしました。

その内容は次のとおりであります。

(1) 銘柄	第16回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
(2) 発行総額	10,000百万円
(3) 発行年月日	2019年7月12日
(4) 発行価額	各社債の金額100円につき金100円
(5) 利率	年0.270%
(6) 償還期限	2024年7月12日
(7) 償還方法	満期償還 (但し、払込期日の翌日以降いつでも買入消却できる)
(8) 資金の使途	設備資金 (リース物件の賃貸資産購入資金を含む)

3. その他

(1) セグメント別の状況

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	41,837	38,297	3,539	727	2,812	1,600	1,212
ファイナンス事業	1,550	4	1,545	311	1,234	△91	1,325
リサ事業	7,225	4,501	2,723	89	2,634	1,003	1,631
その他の事業	4,100	3,722	377	18	359	618	△258
調整	△12	△3	△9	—	△9	474	△483
合計	54,700	46,522	8,177	1,146	7,031	3,604	3,427

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	42,028	38,450	3,578	729	2,848	1,773	1,074
ファイナンス事業	1,628	148	1,480	307	1,172	345	827
リサ事業	11,319	6,380	4,938	105	4,833	1,214	3,618
その他の事業	3,836	3,369	466	18	448	540	△92
調整	△16	△3	△12	—	△12	426	△439
合計	58,796	48,344	10,451	1,161	9,290	4,300	4,989

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

(2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
賃貸・割賦事業	476,936	59.9	501,468	60.8	24,531	507,839	61.4
ファイナンス事業	253,569	31.9	266,648	32.3	13,079	254,015	30.7
リサ事業	63,748	8.0	53,849	6.5	△9,898	62,070	7.5
その他の事業	1,988	0.2	3,071	0.4	1,083	2,908	0.4
合計	796,242	100.0	825,038	100.0	28,796	826,834	100.0

(注) 当第1四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が10,343百万円、買取債権が10,665百万円、営業投資有価証券が10,889百万円、販売用不動産が1,649百万円、賃貸資産が251百万円、投資有価証券が20,050百万円となっております。